



	⑩旧中埜家住宅・桐華学園「フレンチナッツステッチでティーマットづくり」について ⑪「ガリ版体験」について ⑫「ペーパーアート教室」について
各課事務連絡	学校教育課

＜議事録＞

<p>1. 前会の会議録の承認</p>	<p>(事務局) 1 2 月定例会の会議録について概要説明 → 承認</p>
<p>2. 教育長報告</p>	<p>(教育長) 12 月の定例教育委員会から今日までの行事等について報告する。 25 日、市立幼稚園の各園長と面談をして、来年度の幼稚園人事について話し合いをした。 27 日、愛知県と名古屋市の教育長を訪問し、12 月の市内中学校での事件後にスクールカウンセラーの派遣等について配慮いただいた御礼を伝えた。 1 月 7 日、瀧上工業雁宿ホールで 20 歳の集いが行われた。人数は例年程度だったと思うが、やや入場に時間がかかった。会場に入ってきてからも落ち着かない雰囲気があり心配していたが、能登半島地震のことで黙祷が始まって 20 秒から 30 秒ぐらい経ったら声をあげる方はいなくなった。その後も静かな雰囲気のまま進み、とても良い感じで 20 歳の集い式典が行われたと感じた。ここ数年では一番良かったと思う。式典が終わってからは、会場の外でお酒を飲んで騒いでいる方もいたが、予定時間通りにはすべての参加者が会場を後にした。 12 日、半田市議会から市長へ、半田高校との交流会に係る報告があった。これは、新人議員さんが子どもたちに対して選挙や政治に関心を持ってもらうために、主権者教育として半田高校に出前授業のような形で訪問し開催したものだ。次年度も別の高校での開催を検討しているとのことだった。 13 日、亀崎小学校の旧校舎のお別れ会を見に行った。多くの人が昔を懐かしみながら、取り壊しになる校舎を見学しており、いい機会を提供できていたと思う。工事は順調に進んでおり、3 学期からは仮設校舎での学校生活がスタートしている。 19 日、知多教育事務所面談では、来年度の小中学校の人事に向けての現状報告を受けた。今年度、校長を退任するのは 2 名。定年延長制度により、今までであれば退職だった満 60 歳の校長は、定年退職にはならないが役職定年として校長ではなくなる。 22 日、外航クルーズ客船の「につぼん丸」が衣浦港に初寄港するとのこと歓迎にいった。横浜を出発し、前日は新宮に停泊していたよう。300 名程度の乗客のうち、希望者が数台のバスに分かれて近隣のオブショナルツアーへ出かけていた。新美南吉記念館を回るツアーもあった。</p>
<p>3. 議題 ■議案 1) 令和 5 年度半田市立幼稚園・学校教育重点目標</p>	<p>(主任指導主事) 半田市の幼稚園・学校教育重点目標は、「キャリア教育を土台に元気・笑顔・優しさいっぱいの子どもを育てること」である。令和 6 年度も、「地域とともに」を大切に、「コミュニティ・スクールの充実」、「特色を生かした学校づくり」、「子ども主体の授業づくり」の 3 つの柱を中心に、地域とともに子どもたちを育てていく。 令和 5 年度からの変更点を中心に説明させていただく。令和 6 年度においても、「幸せになるための教育」と半田市の教育目標との整理を行っている。「幸せになるための教育」とは、新たな教育を行うのではなく、これまでの教育と目指すものは同じであると考えている。教職員、児童生徒が常に「私・みんなの幸せとは?」「私・みんな</p>

が幸せになるには？」を意識し、問いかけを行いながら教育活動が展開されることが大切だと考えている。この考え方は令和5年度と変わっていない。

重点目標の中でも特に、意識したいこととして3点あげている。そのうちの3つ目を「子どもが自分と周りの人を大切にできるようにしよう！」に変更する。令和2年度から進めてきたGIGAスクール構想によりICTの利活用については、一定の成果を上げていると考えているため。また、3つの柱のうち、コミュニティ・スクールの充実の中の「子どもの成長を支える」というところに「安全・安心及び」を追加した。昨今、「安全・安心な環境」が叫ばれることが多くなってきた。子どもの成長は、安全・安心があつてのことだと考える。

ふるさと半田に関する領域では、来年度も、①コミュニティ・スクールの充実、②郷土学習の推進、③特色を生かした学校づくりを重点取組事項として、「ふるさと半田が好きな子」「ふるさと半田のよさを知り、愛し、誇れる子」の育成に努めていく。幼稚園の1つ目の「身近な人や生活」を「地域の人や環境」という表現に変更する。また、小中学校の②郷土学習の推進の中に、「産学官連携」を追加する。これまでの取組の輪をさらに広げていきたいとの考えである。

次に、生きる力の「徳」にあたる「豊かな心」の領域では、①命の学習の充実、②「特別の教科 道徳」の推進、③教育相談体制の充実を重点取組事項として、「かけがえない命を大切にする子」「かけがえない命を大切に、人の役に立とうとする子」の育成に努めていく。幼稚園の1つ目の後半部分を「友達と互いに認め合い共に活動することを楽しみます。」に変更し、友達との関わりを意識していく。また、小中学校の①命の学習の充実を「関係機関と連携した出前授業や交通安全意識を高める交通少年団活動、防災教育などを通して、自分と周りの命の大切さを学びます。」とする。出前授業については多くの関係機関との連携が進められており、今後もさらなる充実を図っていく。また、重点目標の中でも特に意識したいこととの整合も図る。さらに、防災キャンプの実施校を変更する。③教育相談体制の充実の中では、「心理や福祉の専門家と連携した」を追加し、より専門性を生かした教育相談やサポート体制の充実にも努めていく。

「知」にあたる「確かな学力」の領域では、①キャリア教育の推進、②「主体的・対話的で深い学び」を保障する授業改革、③特別な支援を要する児童生徒への指導の充実、④ICTの利活用を重点取組事項として、「夢ももち、楽しく学ぶ子」「確かな学力を身に付け、夢や目標に向かって自らを高めようとする子」の育成に努めていく。幼稚園の1つ目と3つ目の文言を整理し、幼保小接続期の教育の質的向上を図る。また、一斉研修の実施校が乙川幼稚園になる。小中学校の①キャリア教育の推進のでは、キャリアABCDの文言を変更する。キャリア教育部会において検討がなされたものを反映している。また、研究委嘱については、令和5年度で乙川東小中学校が終了し、令和6年度からは青山中学校が2年間の研究に取り組む。半田中学校は3年目の研究になる。

「体」にあたる「健やかな体」の領域では、①基本的な生活習慣の確立、②心を耕す読書活動と音楽文化振興、③体力の向上を重点取組事項として、「生活リズムのよい、心身ともに元気な子」「望ましい生活習慣を身に付け、健康と体力の向上を

「図ろうとする子」の育成に努めていく。幼稚園の3つ目の文言を整理した。小中学校では、生徒会サミットでの検討をうけて、「ネット五原則」が「デジタル・ファイブ ～5つのやくそく～」と変更になる。歯科巡回指導の実施園・実施校は変更になる。

さらに、子どもたちの主体的な活動（学び）を応援するとともに、元気・笑顔・優しさいっぱい教職員をサポートしていく。裏表紙の「スマイル宣言」と「デジタル・ファイブ ～5つのやくそく～」は今年度までに生徒会サミットで検討され、新たなものとなっている。

（桂委員）

少し話が逸れてしまうかもしれないが、デジタル・ファイブを生徒会サミットで検討するなど生徒会サミットの活動は聞いているが、小学生の児童会サミットは開催していないのか。

（主任指導主事）

実際に児童会役員が一堂に会しての話し合い活動は、ここ数年できていない。今年度については、12月の生徒会サミットが行われたときに、それをWEBで各小学校に配信して、その様子を見てもらいながら小学生からも意見をもらった。小学校単体では開催していないが、小中の児童会生徒会がそういったICT機器を使いながら情報交換していけるようなことを進めている。

（桂委員）

児童会サミットも元々あったが、今は開催されていないということか。

（指導主事）

元々は児童会生徒会を一つのサミットとして開催していたが、移動手段等により小学生の参加が難しいという課題があり、今は中学校の生徒会に特化している。

ただ、やはり市内の各学校でいろいろな活動をしていることを小学生にも伝えたいということで、今回のようにオンラインで参加したり、タブレットを活用してキャラクターデザインを全小中学校に募集して、さらに投票して決定したりしており、枝葉の活動は一緒に実施している。

（桂委員）

事情は理解した。生徒会サミットで何かいろいろと面白いことや興味深いことをしており、それを小学生の児童会の子たちも知ること、中学生ってこんな感じなんだと知る良い機会だと思った。今後も工夫して、できる形で続けていってほしい。

（教育長）

移動の課題は生徒会サミットでもあり、今も保護者に送迎してもらったり、タクシーを利用したり、指導主事が送迎したりしている。ただ、委員が仰るように、中学生が活動している場面を小学生に見てもらったり聞いてもらったりすることはとても大事なことで

	<p>と思うので、今回実施したように、小学生については WEB で参加してもらうなどして、今後も繋がりを持って進めていきたい。</p> <p>それでは、ただいまの説明のとおり来年度進めていくということによろしいか。</p> <p>(全委員) 異議なし</p> <p>(教育長) 承認いただいたので、この内容で2月の校長会・幼稚園長会に提案する。</p>
<p>■ 報告事項 1) 令和5年度 学校訪問・園訪問のまとめ</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>学校訪問及び園訪問については、委員の皆様にはご多用の中、ご訪問いただき、ご指導をいただいた。感謝申し上げます。</p> <p>本年度の、半田市の学校訪問、園訪問のまとめをさせていただきました。</p> <p>訪問計画の立案及び訪問の方法については、学校訪問に教育委員や教育行政(学校教育課)の職員、市役所の幹部職員が同行しており、児童生徒の様子や施設全体を視察することで、学校現場の実情を知るよい機会となっている。また、市議会議員にも訪問していただき、学校現場の実情を知る機会としていただいている。今後も、学校現場の実情を広く知っていただくために、継続していきたいと考える。</p> <p>公開授業については、学習課題について、個別学習、ペア学習、グループ学習など、学習形態の工夫など様々な挑戦が見られ、授業改善に向けた意識が高いと感じた。一方で、効果的な話し合い活動の設定や教師のファシリテート力の向上、「振り返り」の充実、評価の仕方など、さらなる力量向上が求められる。よい事例の紹介や研修の場の設定など、各校と連携しながら進めていきたいと思う。</p> <p>3の特設授業については、授業後の協議会において先生方が主体的に参加し、時間が足りなくなる学校がほとんどだった。現職教育の研究主題を全職員が意識し、「よりよくしたい」と思っていることを感じた。一方で、言葉の定義や具体的な手立て、検証の仕方が明確にされていないため、一人一人の職員の中で「どのような目的のためにどのような手段で迫っていくのか」が曖昧になったままの学校があった。先ほど説明したことと同じだが、今後も、一人一人の授業力向上のため、よい事例の紹介や研修の場の設定など、各校と連携しながら進めていきたいと思う。</p> <p>諸帳簿については、不祥事防止の取組について、資料に指導の記録がされている学校が多かった。また、通級指導記録や保健室執務記録にはきめ細やかな記録がされていた。保管するだけでなく、児童生徒へのよりよい支援のため活用されるよう助言していきたいと考える。</p> <p>校内現職教育の推進・研究協議については、現職教育の研究主題を意識し、指導案の記載内容にも学校独自の工夫をするなど、全校体制での共通理解を図りながら研究に取り組んでいる姿が見られた。また、研究協議では、グループ別協議を採用している学校が多く、初任者や少経験者も、自分の意見や考えを積極的に出すなど経験年数に関係なく活発に意見交換されていた。一方で、現職教育の推進</p>

についてどのように研究を検証していくのか、検証方法のあり方についても検討することが必要であると感じた。取り組みつばなしの現職教育にならないよう助言していきたいと考える。

その他については、市の重点目標に対し、地域の実情や学校の実態を意識しながら、全職員でその実現に向けて取り組もうとする様子が見られた。学校教育目標達成への方策も示されているが、それが教職員に共通理解され、子どもたちをどう育てていこうとしていくか明確になっている必要がある。管理職の見取りによるフィードバックや、教職員自身の振り返りにより、学校教育目標の具現化へとつなげてもらえるよう助言していきたいと考える。

その他、道徳科の授業づくりや教材研究、個別の教育支援計画の活用について課題が見られる。市としても、研修の機会を充実させていきたいと考える。

続いて、幼稚園訪問のまとめについて。

訪問計画の立案及び訪問方法については、事前打合せで、現職教育の深め方の確認や協議の視点や進行方法の打合せを行うことで、協議内容の充実につながった。一方で、指導計画案の内容と現職教育のテーマとのずれが見られることがあったため、事前打ち合わせで指導計画案の作成についても確認する必要性を感じた。

公開保育では、子どもたちの主体的な遊びを充実させるための環境について工夫が見られた。一方で、現職教育のテーマを意識するあまり、教師の意図した活動が先行してしまうこともあった。子どもたちの思いに寄り添いながら、ねらいの達成に向かうような保育を目指したいと感じた。

特設保育については、子どもたちの興味関心を大切に、当日のねらいに向けて必要な経験が積み重なっていくように保育を展開していた。特設保育に取り組む教師には、自分の保育についてじっくりと考え、理解を深めるよい機会となっている。また、特設保育について、全員で学ぶことができる貴重な時間となっている。参観方法については今後も、保育時間、日程を考慮しながら設定していく必要を感じた。

諸帳簿については、週案・日案の毎日の評価・反省については、子どもたちの姿をもとに、翌日の保育につなげるための視点を明確に記載できている。保育の振り返りができ、明日の保育につながる内容を適切に表現することを進めるとともに、日々の保育の記録として有効に活用していきたいと考える。

研究協議については、担任、加配教諭がそれぞれの経験も踏まえ、子どもたちの姿から、テーマに合わせた自分の考えを積極的に発言し、活発な話し合いができていく。短時間勤務のため、普段このような時間を確保しにくい加配教諭の意見から、担任教諭が新たな気づきを得ることが多く、貴重な機会となっている。研究協議の中で、全員で共通理解したことや考え合ったこと、学び合ったことが、日々の保育や現職教育につながるように、各園で振り返りの時間を工夫するとよいと思う。

小中学校も、幼稚園も、よい事例や課題を抱えているものもある。前半部分の繰り返しになるが、よい事例の紹介や研修の場の設定など、各校・園と連携しながら進めていきたいと思う。

<p>2) 令和5年度 半田市教育委員会表彰式</p>	<p>(指導主事)</p> <p>令和5年度半田市教育委員会表彰を、令和6年2月10日(土)午前10時30分から、アイプラザ半田にて実施する。</p> <p>受賞者は、別紙一覧のとおり。今年度の受賞者は、全体で、個人216名、団体が2団体である。表彰者は、教育委員会表彰規定に基づき、4つの区分において、その功績により、決定している。</p> <p>後ほど、スポーツ課からも説明があるが、当日は、半田市スポーツ協会表彰もあわせて実施する。</p>
<p>3) 市立協和保育園及び成岩幼稚園の認定こども園化</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>半田市では、公立幼稚園・保育園の今後のあり方等について検討、策定した「半田市保育園等公民連携更新計画」に基づき、幼稚園・保育園の子ども園化や保育園の民営化などを進めているところだが、この度、成岩地区の市立協和保育園と成岩幼稚園を統合、子ども園とする事業が具体化したので報告する。</p> <p>まず、建設予定地は、半田市成岩本町3丁目。現在の成岩公民館から東へ150メートルほど進んだ、半田市所有の土地となる。</p> <p>次にスケジュールは、令和6年度～8年度にかけて実施設計・建設工事等を行い、令和9年4月の開園を目指す。</p> <p>子ども園の類型について、子ども園には、幼稚園を母体とした幼稚園型や保育園を母体とした保育園型などがあるが、今回のものは保育園と幼稚園を統合した幼保連携型というものとなる。</p> <p>統合後の定員は、資料中段の表のとおり、ニーズの高い0歳・1歳について、現行の協和保育園の定員から増員し、それぞれ15人・20人とする。2歳から5歳については、現行の協和保育園と成岩幼稚園の定員を合算した人数としている。</p> <p>なお、地元説明会と、保護者説明会を、1月下旬から2月中旬にかけて開催する予定である。</p> <p>また、現在の成岩幼稚園、協和保育園の跡地利用については、現時点では未定で、これから検討していく。</p> <p>(久米委員)</p> <p>亀崎幼稚園がこども園になるとき、地域の方からたくさんのご意見があり署名運動などが行われたが、今回はそういった声はあるのか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>今現在そういった声は届いてない。</p> <p>先ほど申し上げた更新計画を策定し、公表した際に一定の合意形成がなされたと考えている。</p> <p>(正村委員)</p> <p>人数について、成岩幼稚園は現在、定員を満たしていないと思うが、新設こども園</p>



の定員はどのように検討したのか。建設予定地付近の子どもたちが増える見込みがあるのか。

(学校教育課長)

定員は、現時点での状況に基づいて将来の人口推計を立てた上で設定している。実際には定員と入園する子どもたちの差は生じることとなる。

(桂委員)

協和保育園の卒園児は、どこの学校に行く子が多いか。

(学校教育課長)

特に保育園は、住所地からやや離れた園に通園している子もいるので、一概には言えない。ただ、正確な情報は持ち合わせていないが、成岩小学校へ通う子が多いと思われる。

(堀崎委員)

駐車場の台数は大丈夫か。

(学校教育課長)

駐車場については課題として捉えており、当初の予定より増やす案を検討している。敷地には余裕があるので、必要台数を精査して、確保できるよう努める。

(新美委員)

この認定こども園は、亀崎幼稚園と同じ形態になるのか、異なる形態なのか。

(学校教育課長)

類型としては、幼保連携型となる。亀崎幼稚園は幼稚園型で、これは幼稚園を母体とした施設に保育園的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプ。今回は、幼稚園と保育園とが連携して、一体的な運営を行うことにより、認定こども園としての機能を果たす幼保連携型と呼ばれるタイプ。

(新美委員)

違う類型であることは分かったが、具体的には何が違うのか。

(教育部長)

利用される方の視点では、同じだと考えてもらっていい。行政上の話として、根拠法令や所管する省庁が異なっていたり、それに伴って補助金の種類が異なっていたりする。

4) 寄附、後援願等	<p>(学校教育課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4 団体より寄附。 (内訳：寄木シート、現金 345,325 円、図書一式、絵画)</li> <li>・11 件の後援名義を許可。</li> </ul>
5) 児童生徒(園児)の交通事故・問題行動等	<p>(指導主事)</p> <p>令和5年12月19日～令和6年1月19日の交通事故・問題行動等について。</p> <p>交通事故：3件  1月9日(火) 1件  1月11日(木) 1件  1月13日(土) 1件  問題行動(被害)等：1件  12月19日(火) 1件  交通事故以外の事故：0件  学校等被害：0件  不審者情報：2件  1月4日(木) 1件  1月17日(水) 1件</p> <p>(正村委員)</p> <p>問題行動について、学校間で連携はとっているのか。</p> <p>(指導主事)</p> <p>各学校の生徒指導の先生方が集まる生徒指導部会の中で情報共有等はしている。警察等の関係機関とも連携している。</p> <p>また、2年前に生徒指導提要が12年ぶりに改訂され、その中でも地域や関係機関との連携について謳われている。</p> <p>(教育長)</p> <p>今後も地域等で情報を得ることがあれば共有してほしい。</p>
6) 令和6年度半田空の科学館・半田市体育館の臨時開館・臨時休館	<p>(生涯学習課長)</p> <p>空の科学館・体育館の休館日は、各条例施行規則により、年末年始と毎週月曜日と定めているが、令和6年度は、春・夏・冬休み期間中の月曜日となる4月1日(月)始め10日間を臨時開館する。一方、9月3日(火)始め3日間を臨時休館する。</p> <p>その中で、科学館については、11月25日(月)はあいち県民の日 学校ホリデーに伴う臨時開館となり、翌日26日(火)を臨時休館とする。</p>
7) 半田福祉ふれあいプール、青	<p>(スポーツ課長)</p> <p>指定管理者(株式会社スポーツプラザ報徳)(三幸株式会社)から依頼のあつ</p>

<p>山記念武道館臨時開館・臨時休館</p>	<p>た見出しの件について、半田市体育施設条例施行規則第2条第2項に基づき、下記のとおり承認したので報告する。</p> <p>1. 半田福祉ふれあいプール・臨時開館日(計7日)</p> <p>条例規則に基づき、通常は毎週月曜日が休館日となっているが、夏休み期間中の月曜日と愛知県民の日の11月25日、合わせて7日間開館する。</p> <p>経費については、臨時開館に伴う経費増額分は、令和6年度の指定管理料の範囲内対応とする。</p> <p>利用者には、はんだ市報、半田福祉ふれあいプールホームページ、館内掲示により周知する。</p> <p>2. 青山記念武道館</p> <p>青山記念武道館もふれあいプールと同様に毎週月曜日が休館日だが、年末年始を除く全ての月曜日を開館日とする。</p> <p>経費や利用者告知の方法は、半田福祉ふれあいプールと同様である。</p> <p>両施設とも現時点での臨時休館は、決まっていないが、半田福祉ふれあいプールは来年度に大規模修繕を予定しており、工事による休館の日程が決まり次第、改めてお知らせする。</p> <p>(正村委員)</p> <p>武道館の休館日について確認したい。これまで月曜日はすべて休みだったところを、令和6年度は開館するということか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>これまで同様に月曜日は開館していた。ただ、半田市体育施設条例施行規則により、年末年始と月曜日が休館日と定められている中、教育委員会が必要と認めたとときに開館できることになっており、来年度についても指定管理者から開館の申請があったため、教育委員会として承認をさせていただいたものである。</p>
<p>8) 令和5年度半田市スポーツ協会表彰式</p>	<p>(スポーツ課長)</p> <p>日時等は教育委員会表彰と同様で2月10日に開催する。</p> <p>半田市スポーツ協会表彰規定に基づき、特別体育功労賞1名、体育功労賞18名、スポーツ賞23名・2団体を表彰する。</p> <p>表彰対象者は、当日のパンフレットに記載する。</p> <p>(久米委員)</p> <p>知り合いにウィンドサーフィンの全国大会で優勝した方がいるが、対象となるか。</p> <p>(スポーツ課長)</p> <p>スポーツ協会の表彰については、スポーツ協会の加盟登録団体の競技種目に限られるため、今回は対象とならない。今後、協会が立ち上がり加盟登録団体となれば対象となる。</p>

	<p>(指導主事)</p> <p>教育委員会表彰については該当になると思われる。今年度は申込みの期限を過ぎてしまったので、来年度に本人の希望があれば、ご検討いただければと思う。</p>
<p>9) 各種事業</p> <p>①「令和 6 年半田市二十歳の集い」の開催報告</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>1月7日に瀧上工業雁宿ホールにて開催した。出席者は957名、出席率は76%で概ね例年通り。</p> <p>第1部を式典として30分、第2部は実行委員会主催でビデオレターや二十歳の抱負など1時間程度の内容で開催した。</p> <p>なお、教育委員の皆様は、従来は来賓としてご列席をお願いしていたが、コロナ禍を機に市長・教育長・市議会議長・各中学校恩師のみとしたこと、また、「成人式」という式典から「二十歳の集い」というイベントに変わり、若い世代を中心に地元への愛着を深め、お互いを応援し合うイベントとして盛り上げていってほしいと考えることから、今後も来賓としての声かけは控えさせていただく。</p> <p>式典中に会場を出て駐車場付近で騒いでいる子などもいたが、大きな事故はなく終えられた。</p>
<p>②「ロビーコンサート」の開催</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>ロビーコンサートとして、2月16日(金)に今年度4回目、2月25日(日)に5回目として、それぞれ市役所と瀧上工業雁宿ホールで開催する。25日は、このあとで説明するクラブ発表会を盛り上げるために、クラブ発表会の開始前に同一会場で開催する。</p> <p>コンサートの出演者は、どちらも半田市内の方ではない。16日の五味氏は、鎌倉の市民オーケストラのコンサートマスターの方だが、以前、仕事の関係で半田に関わりがあったとのことで、こういったイベントがあることを知って自ら応募いただいた。</p> <p>25日のジャズトリオの方々は赤レンガ建物で活動されており、これからも半田市内でこういった活動を継続して実施していきたいとのことだった。</p> <p>(教育長)</p> <p>ロビーコンサートの出演者はみなさん申込みなのか。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>市内外問わず、多くの方に申し込んでいただいているため、市内の方を優先するとともに、一度出演された方は外させてもらっている。</p>
<p>③「第35回半田市公民館・区民館クラブ発表会」の開催</p>	<p>(生涯学習課長)</p> <p>クラブ発表会は毎年この時期に開催しており、昨年から半日開催としている。非常に好評だったため、今回も半日開始とする。これまで抽選会を実施していたが、今回</p>

	から実施しないこととなった。
④ 大人のための 図書館・博物館 探検ツアー	(図書館長) 「大人のための図書館・博物館探検ツアー」を2月24日(土) 14時から開催する。定員は30名、応募多数の場合は抽選となる。
⑤ 親子でわらべう たコンサート	(図書館長) 「親子でわらべうたコンサート」を3月9日(土) 11時から開催する。定員は50名、先着順となる。
⑥ 亀崎図書館 「オトツシャ音読教 室 & 折り紙 2024 如月」	(図書館長) 「オトツシャ音読教室 & 折り紙 2024 如月」を2月29日(土) 10時30分から開催する。定員は16名、先着順となる。
⑦ 亀崎図書館 「人形劇」	(図書館長) 「人形劇」を3月3日(土) 14時から開催する。定員は50名、応募多数の場合は抽選となる。
⑧ 館蔵品展「全 国津々浦々！ 絵 葉書展」	(博物館長) 今回の館蔵品展では、半田市内の様々な名所や全国各地を紹介した絵葉書などを展示し、当時の流行や文化について紹介する。
⑨ ミニ展示「ひな まつり展」	(博物館長) このミニ展示は毎年、1階受付前の展示コーナーで行っているもので、展示期間は2月3日(土)から3月10日(日)までとする。期間中、県内32か所の博物館や資料館が連携して、「ひなまつりスタンプシールラリー」も開催する。
⑩ 旧中埜家住 宅・桐華学園「フ レンチナッツステッ チでティーマットづ くり」	(博物館長) この講座は、旧中埜家住宅を桐華家政専門学校と協働して「多様な学びの場として活用」するもので、3月9日(土)の9時30分から12時まで、旧中埜家住宅の2階和室にて開催する。旧中埜家住宅が桐華洋裁学校として活用されていた歴史を学んでいただければと思う。
⑪ ガリ版体験	(南吉記念館長) 2月11日(日)にガリ版体験を行う。多くの世代には縁遠くなってしまったガリ版刷りだが、同人誌や詩集、テスト用紙を作るために南吉もよく使っていた印刷道具である。体験では、好きな図案で原紙をつくり、葉書に印刷をしていただく。

<p>⑫ペーパーアート 教室</p>	<p>(南吉記念館長)</p> <p>新美南吉記念館では、今週末から美浜町在住のペーパーアート作家榊原澄香さんの作品展を開催するが、それに合わせて2月24日(土)にペーパーアートを作る教室を行う。</p> <p>澄香さんの指導で、ごんぎつねの図柄を、紙を使い半立体の絵画にする。</p>
<p>各課事務連絡 1) 学校教育課</p>	<p>(主任指導主事)</p> <p>本年度8月に教育講演会でご講演いただいた工藤勇一先生の次回講演について、現在の状況を報告する。</p> <p>半田市として、来年度の令和6年度に再び工藤雄一先生にご講演いただけるよう、現在、夏休み期間中での日程調整を行っている。決まり次第、改めてご報告させていただきます。</p>
<p>2) 学校教育課</p>	<p>(学校教育課長)</p> <p>一部報道にあった市内小学校保健室内事故の件について。</p> <p>令和6年1月11日に名古屋地方裁判所からこの損害賠償請求事件に係る判決の言い渡しがあった。</p> <p>今後の対応については、本件は学校の管理責任の免れない事案と考えているので、控訴はしないこととし、賠償金の支払いの準備を進める。ただし、賠償金については、市の加入する保険より全額保証される。</p> <p>(久米委員)</p> <p>報道に出てから、市教委へ電話やメールでの問い合わせ等はあったか。</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>1件のみ電話をいただいた。支払いについて、加害者が賠償金を支払うべきではないかとの電話だったが、市が加入する保険で対応する旨を伝え、納得いただいた。</p> <p>(新美委員)</p> <p>今回、損害賠償金で支払われるということだが、そもそも裁判になる前に示談という方法もあったと思う。示談であっても今回の保険で対応してもらえるのか、あるいは裁判で判決が示されないと保険で対応してもらえないのか。</p> <p>(学校教育課)</p> <p>示談であっても保険は適用される。</p> <p>(新美委員)</p> <p>今回、争いの論点は何だったのか。学校の責任については当初から認めていたのであれば金額の差かと思うが、争う必要があったのか。</p>

	<p>(教育部長)</p> <p>おっしゃる通り、相手方が提示した金額と、こちらの保険会社が試算した金額に乖離があったことが最も大きな理由である。</p> <p>ただ、結果論ではあるが、判決文が公開され、マスコミにより事件の詳細が広く知られてしまった。今後はこういったことも含めて判断していく必要があると感じた。</p> <p>(桂委員)</p> <p>今後、同じような事件があったときに、例えば加害者側の家庭が保険に入っていれば、そちらから支払われることもあるのか。</p> <p>(教育部長)</p> <p>可能性としてはあり得るが、誰に損害賠償請求をするのかは被害者側が決めることであり、一概には言えない。</p>
教育委員からの 意見提言等 (1)	<p>(正村委員)</p> <p>先日、日本福祉大学の原田学長による「地域共生社会の実現に向けて」というテーマの講演を聞く機会があった。</p> <p>半田市は、行政・教育・社会福祉協議会など横の繋がりにかかる重層支援体制整備事業において先進的な取り組みをしているという話があった。</p> <p>横の繋がり、地域を巻き込んだ実践、幼少期からの教育が必要等の内容だったが、それらの点において半田市の取り組みは全国的に見ても進んでいるとのことだった。自分の住むまちのこととして、こういったことを当たり前に行っていると気づかないが、先進的なことを教育委員会としても歩んでいると知り嬉しい気持ちになった。</p> <p>(教育長)</p> <p>今後いろいろなことにおいて、情報共有をしつつ協力して取り組んでいきたい。</p>
教育委員からの 意見提言等 (2)	<p>(久米委員)</p> <p>先日、半田市内の公園で街灯のポールの本根が腐って倒れてしまったという事故があった。幸い被害はなかったが、老朽化が進んでいるものもあると思うので、校内にある街灯などを点検しておいたほうがいいのではないかと思った。</p> <p>(教育長)</p> <p>では、一度確認をお願いします。</p>
次回開催等	<p>(事務局)</p> <p>2月定例教育委員会 日時：2月22日(木) 10時00分～ 場所：半田市役所4階 庁議室 3月臨時教育委員会後に、教育大綱の見直しを議題として総合教育会議を開</p>

	<p>催予定。</p> <p>(教育長)</p> <p>1月定例教育委員会を終了する。</p>
--	-------------------------------------------------

〈 閉会 11時45分 〉